

災害時に帰宅困難者とならないために

Q1. 仙台市における帰宅困難者対策について教えてください。

A. 仙台市では、帰宅困難者対策として、『事業所等における一斉帰宅の抑制』、『一時滞在場所の確保』、『徒歩帰宅支援』などを進めています。また、災害発生時には、『帰宅困難者等に対する情報提供』に努めています。

Q2. 帰宅困難者が発生するとどういったことが問題になりますか。

A. 帰宅困難者となった方々は、自宅等から離れており、家族との連絡が取りづらい状況になります。また、予定していた交通手段が使えなくなった場合には、帰宅するために必要な情報が得られないなどの問題を抱えることとなります。

また、一斉に帰宅を開始すると、交通渋滞が発生したり、路上に人があふれたりするなどして、消火活動や救急活動等の妨げとなり、二次的災害の危険を高める可能性があります。

実際、東日本大震災では、交通機関が麻痺し多くの帰宅困難者が発生しました。特に市内中心部においては、ターミナル駅周辺の指定避難所は大変な混乱が生じました。

Q3. 一斉帰宅を抑制するには何をすればいいのですか。

A. 災害時に交通機関が麻痺している状況では、さらなる混乱を避けるため、緊急を要さない移動は控えることが大切です。そのためにも、オフィスなどの書庫や戸棚、OA機器等の固定や落下防止、避難通路出入り口の確保等社内安全点検に努めましょう。また、被害状況や道路・交通情報など正確な情報を得るため、停電を想定し

て複数の情報源を準備しておきましょう。さらに、一定の期間、従業員が事業所内にとどまることができるよう食料・水・毛布等を備蓄するとともに、日ごろから従業員が家族と連絡を取れるよう話し合いを行い災害時でも落ち着いて行動できるようにしておきましょう。

Q4. やむを得ず従業員を帰宅させるときに注意することは何ですか。

A. 帰宅するうえで、従業員に十分な備えができていのかどうか、また、その時の健康状態など帰宅させるにあたっての従業員のリスクや必要性を検討しましょう。そのため

にも前もって子どもや要介護者がいる従業員を把握しておくことが大切です。

BCP(事業継続計画)を作成して準備・計画しておくことが重要です。防災力を高めることで、被害を最小限に抑えることができ、事業復旧までの時間を短縮することができますし、災害に強い企業ということで、お客さまや取引先、地域の住民からも信頼される企業となります。

A: 災害が発生したときに、家族との連絡方法や集合場所などを確認しておくことが大切です。また、歩いて帰る訓練や帰宅するルートの確認、危険箇所やトイレのある公園の状況等を把握しましょう。携帯ラジオなど情報を取れるものや歩きやすい靴、天候など環境に応じた服装(防寒服、合羽、下着などを会社のロッカーや机の中に準備しておきましょう。長距離を歩いて帰ることを想定する場合には、帰宅時の飲み物や簡易食料も考える必要があります。

また、企業の皆さまには、一時滞在場所(施設)としてのご協力をお願いしています。一時滞在場所(施設)は、買い物や出張などで帰宅困難となってしまう方々が、帰宅できるまでの間、一時的に滞在していただく場所(施設)として確保するものです。市の中心部や交通結節点等、不特定多数の方が多くいらっしゃる地域を想定しており、これら地域では、市の施設など公的な施設や、さまざまな企業の皆さまと協定を結ぶことで確保したいと考えています。

Q6. 企業が防災力を高めることで、どんなメリットがありますか。また、帰宅困難者対策に、企業としてどのような協力ができますか。

一時滞在場所(施設)に『協力したい』または『できる』とお考えの企業の皆さまは、ぜひ、仙台市消防局防災企画課までお問い合わせください。

A. 地震などの被害の軽減や早期復旧を図るためには、平時から必要な対応を整理し、

仙台市消防局防災企画課・減災推進課
〒980-0802
仙台市青葉区二丁目12-26
TEL 234-1111 (代表)
FAX 234-1119
カメイ勾当ビル3階

【安否の確認方法】

各通信会社の災害伝言板サービス、災害用伝言ダイヤル(171)等があります。また、各通信会社では、災害用伝言板体験サービスを毎月1日、15日、正月の三が日、国の防災週間期間等に併せて実施しています。詳しくは、下記の各通信会社のホームページでご確認願います。

- | | |
|---|------------|
| http://www.nttdocomo.co.jp | NTTドコモ |
| http://www.au.kddi.com | KDDI (au) |
| http://mb.softbank.jp | ソフトバンクモバイル |
| http://emobile.jp | イーモバイル |
| http://www.willcom-inc.com | ウィルコム |



★徒歩で帰るための備えをしましょう

職場のロッカーなどに徒歩帰宅を想定して必要なものを備えておきましょう。


あとと便利なモノの一例

- | | | |
|--|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 手袋 | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> 簡易食料 | <input type="checkbox"/> リュック | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 予備乾電池 | <input type="checkbox"/> 充電器 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 絆創膏 | <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ |
| <input type="checkbox"/> 衣類 (特に女性は歩きやすいズボン、靴下など) | <input type="checkbox"/> ポケットティッシュ、ウェットティッシュ | |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | | |
| <input type="checkbox"/> 防犯ブザーまたはホイッスル | | |



★帰る道を確認しておきましょう

職場から自宅までのルートをいくつか調べ、危険な箇所やトイレの場所など事前に確認しておきましょう。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 歩いて帰る訓練をしたことがありますか |  |
| <input type="checkbox"/> 2つ以上のルートを知っていますか | |
| <input type="checkbox"/> ブロック塀や自動販売機など倒壊の恐れがある箇所をチェックしていますか | |
| <input type="checkbox"/> 途中の公園などトイレがある場所を知っていますか | |



【回答】
仙台市地震防災
アドバイザー
山田 耕太郎 氏